みるしる! ろいやるん♪

スギ花粉症の救世主となるか？「舌下免疫療法」について

すっかり春ですね。花粉症の人にとっては、まだまだつらい季節です。私も花粉症で、毎年強い薬を使っています。強い薬を使うと、眠気やだるさもつらいですよね。花粉症はもう一生付き合っていくしかないと諦めていましたが、最近花粉症を完治する事ができるという、新しい治療法が出てきました。その名は「舌下免疫療法」です。今回はこの舌下免疫療法について調べてみました。

舌下免疫療法とは？

アレルギーの原因物質を少しずつ体内に吸収させることで、アレルギー反応を弱めていく治療法です。具体的には、指定された用量のスギのエキスを自分で1日1回舌下に滴下し、2分間保持した後、飲み込みます。その後5分間はうがい・飲食を控えます。これを3年程続けます。中断してしまったら最初からやり直しです。2014年10月から保険適応になりました。2週間に1度通院が必要です。

正直なところ、3年間は長いですよね。海外の論文では3年間継続できた人は約15%だったそうです。ほとんどの人が挫折している事になります。3年間やり遂げた場合、約2割が完治、約6割に症状の軽減が認められたそうです。残りの約2割は何と、全く効果が無かったそうです。自分がその2割だったらショックですよね…。スギ以外の花粉には効果が無い事や、治療を終えた後効果が弱まって追加治療が必要になるケースがある事など、知れば知るほど甘い治療では無いと思い知りました。しかし、現在花粉症を完治する可能性がある唯一の治療法ですので、几帳面で意思の強さに自信のある人は是非、チャレンジしてみてくださいね。

（文／看護師・小野）

スギの雄花と花粉

花粉症のあなたはどんな対策をしていますか？

お知らせ

4月17日（水）14:00～ さくらの演奏会＋病棟にて茶会

5月中旬ごろ ボランティア演奏会

日程の詳細は決定次第、院内のポスターでお知らせを致します。お楽しみに。

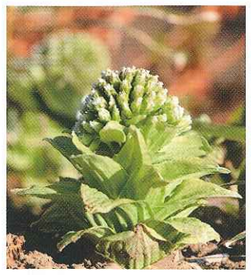
※上記内容は諸事情に因り予告無く変更となる場合があります。判り次第、院内ポスター掲示及び当院ホームページ上でお知らせ致しますのでご理解ご了承ください。

編集後記

春一番に、芽を出すことから、縁起の良い花ともされている「ふきのとう」。春の季節を表現する山菜として、日本料理には欠かせない食材であり「春の皿には、苦みを盛れ」と言う言葉がありますが、その苦みは、冬の間に体にため込んだ老廃物を、綺麗にする働きがあると言われています。

また、その花蕾を陰干しにしたものは「和款冬花」として市販されています。……春ですね。

（文／看護師・古澤）



TOKOROZAWA LOYAL WAM TOWN

◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌

はなみずき

vol.54

発行　所沢ロイヤル病院　広報委員会　はなみずき編集部
〒359-1152　埼玉県所沢市北野三丁目1番地11
医療法人 啓仁会　所沢ロイヤル病院
TEL：04(2949)3385　FAX：04(2949)7872
ホームページアドレス　http://www.tokorozawa-loyal.jp

春号

平成31年4月1日発行

〈病院理念〉私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

通所型短期集中予防サービスの紹介

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを健康寿命と言い、運動によってこの期間を延ばすことができると言われています。要支援、要介護になる原因のトップは転倒、骨折や関節の疾患が全体の約25%を占めています。これらの疾患やけがなどは、習慣的な運動によって防ぐことが期待されており、健康寿命を延伸する取り組みとして「介護予防」が注目されています。

所沢ロイヤル病院では平成29年7月より所沢市事業を受託し、通所型短期予防集中サービスを実施しております。3か月の期間集中的にリハビリ専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と管理栄養士が講師となり、転倒予防につながる重りを使った体操を中心に、栄養改善、食べる機能の改善プログラムにより、高齢者が要介護状態等になる事の予防または軽減・悪化の防止を目的としています。

これまでに利用された皆さんは回数を重ねるごとにしっかりとしていく身体の変化を実感され、3カ月終了後、地域のサークルに参加する契機となった方もいらっしゃいました。今後も、地域の皆様の健康づくりのお役に立ちたいと考えております。

通所型短期集中予防サービスのプログラムに参加された皆さん

（文／リハビリテーション科・眞保）

【医師の紹介】 当院の常勤医師の紹介です。

・**院長　大久保 清一郎**（おおくぼ せいいちろう）
専門分野：老人内科、消化器科
出身地：東京都
好きな食べ物、飲み物：果物
最近夢中になっていること：AIの進歩と人類の未来
当院で目指すもの：高齢者医療の安全、安心の維持

・**副院長　金子 正二**（かねこ しょうじ）
専門分野：消化器外科、緩和医療
出身地：千葉県
好きな食べ物、飲み物：うなぎ、寿司
最近夢中になっていること：水泳、落語
当院で目指すもの：治療方針についてご家族と相談し、納得をして頂き方針を決める

・**深山 牧子**（ふかやま まきこ）
専門分野：老人内科、感染症
出身地：東京都
好きな食べ物、飲み物：カキフライ、ビール
最近夢中になっていること：ウィンドサーフィン、温泉
当院で目指すもの：患者様とご家族に満足して頂く医療の提供

・**布施 滋**（ふせ しげる）
専門分野：神経内科
出身地：東京都
好きな食べ物、飲み物：甘い物
最近夢中になっていること：いまは残念ながら特にありません
当院で目指すもの：「ご家族を安心して預けられる医療」…… でしょうか

・**平田 聖二**（ひらた しょうじ）
専門分野：リハビリテーション、整形外科
出身地：新潟県上越市
好きな食べ物、飲み物：もんじゃ焼（もち・明太・チーズ）と黒ホッピー
最近夢中になっていること：日常の中に強い赤色を見つけること
当院で目指すもの：回復期リハビリ病棟にてなるべく多くの人を自宅に帰してあげる事

・**山﨑 章**（やまざき あきら）
専門分野：老人内科
出身地：埼玉県飯能市
好きな食べ物、飲み物：麺類一般、ビール
最近夢中になっていること：映画鑑賞、読書、ウォーキング
当院で目指すもの：ご本人、ご家族の気持ちに寄り添い、尊重できる高齢者医療を目指します

《非常勤医師》リハビリテーション科／草野 修輔　緩和医療／藤本 肇

・**神津 知永**（こうづ ともなが）
専門分野：消化器内科、内視鏡治療
出身地：長野県小諸市
好きな食べ物、飲み物：納豆、海産物
最近夢中になっていること：音楽鑑賞
当院で目指すもの：患者様に寄りそう医療を目指しています。満足度の高い入院生活を求めてまいります

・**鎌田 嗣正**（かまた つぐまさ）
専門分野：老人内科、呼吸器科、リハビリテーション科
出身地：神奈川県横浜市
好きな食べ物、飲み物：カレーライス、ハイボール、コーラ
最近夢中になっていること：アメリカンフットボールなどのスポーツ観戦
当院で目指すもの：患者様もご家族も安心して任せられる医療を目指します

・**秋本 芳太郎**（あきもと よしたろう）
専門分野：内科
出身地：福岡県福岡市
好きな食べ物、飲み物：野菜、お酒（アルコール何でも）
最近夢中になっていること：野球観戦
当院で目指すもの：信頼される医師になること! 信頼される医療を目指すこと

・**岩城 裕子**（いわしろ ゆうこ）
専門分野：在宅医療、内科一般（エンドオブライフケア）
出身地：宮崎県
好きな食べ物、飲み物：嫌いなものがありません
最近夢中になっていること：海外ドラマ鑑賞及びレビュー
当院で目指すもの：病院にいらっしゃっても「家族」「家庭」「その人らしさ」を尊重して療養して頂く事を目標としています

・**織部 尚利**（おりべ ひさとし）
専門分野：循環器内科
出身地：大分県
好きな食べ物、飲み物：握り寿司、ワイン
最近夢中になっていること：山歩きと風景の写真撮影
当院で目指すもの：コミュニケーションを大切にして患者様とご家族が納得できる医療を目指します

今年もリハビリ室に桜が咲きます！

毎年4月の完成を目標に患者様、スタッフと共に桜作りを行っています。お花紙を約5000枚使用して作り上げる壮大な作品となっています。

写真は昨年の作品ですが、今年も大きな桜がリハビリ室に咲いているので、是非見に来てください！　（文／リハビリテーション科・松本）